

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	2ヶ月に1回、運営推進会議を実施しているが、ここ数年コロナ禍ということもあり、委員メンバーの中に利用者代表及びその家族を招集していなかったため、委員の方がご利用者や家族の生の声を聴く機会がなかった。	運営推進会議へ、ご利用者代表と家族に参加して頂くことで、委員の皆様施設内の現状など生の声を聴いていただく良い機会になると思い、今年度より参加していただくようにします。	ご利用者代表として、毎回違うご利用者を選択し、その家族にも会議に参加していただき、本音で話をしてもらい、ご指摘があれば真摯に受け止め、改善していくようにします。	6ヶ月
2	10	現在施設では面会の制限などではなく、家族・親戚・友人など沢山の方が面会に訪れたり、外出されたりしておられますが、施設から呼び入れるなど家族への情報発信はしておらず、家族との交流または家族同士の交流は行えていない。	施設で開催するイベントなどで、家族様にも情報発信をし、どなたでも気軽に施設へ足をお運びになられ、家族間でも交流・情報交換できるような、活気ある施設を目指します。	年数回実施しているイベントのうち、『敬老会』を家族参加型として、広報を通して来設頂くように情報発信していく。引き続き、地域の皆さんによるボランティアなども呼びかけ、活気あるイベントにしていく。	6ヶ月
3	33	今年2月、施設初の看取りを実施、職員への勉強会を通し『看取りへの理解』を深める良いきっかけとなった。この経験を風化させることなく、今後さらに求められるであろう『看取り』を、家族の思いに寄り添った目線で追及していきたい。	ご利用者には、『最後まで元気に過ごして頂く』をテーマに、入居者個々に合った過ごし方を常に考え提供していきたい。また状態変化時は早期発見に努め、職員同士情報共有し、家族へも適切な情報を報告出来る様にしていきたい。	先ずはご利用者が元気に過ごして頂くように、食事・排泄管理、バイタルサインチェック、下肢筋力低下低下予防(リハ)、認知力低下予防(レク)を継続し、ご利用者の以上の早期発見に努める。状態変化があれば、密に申し送り、家族への情報発信に繋げる。	6ヶ月
4	35	BCP(事業継続計画)は大まかに完成しているが、施設が経験した水害に関しては確立していないので、早急に進めていく必要がある。	自然災害、特に水害に関しては、毎年起きる可能性があり、年に数回は避難を要する。避難に関する指標を設け、安全に避難し安心して過ごせる環境づくりを作っていく。	避難時の準備品、人員配置、避難ルートなどマニュアル化し、避難時混乱しないようにする。またそれに関する勉強会も行い、実践に繋げる。昨年度は一度も避難していなかったため、年一回は実際に避難を経験しておきたい。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。